

令和2年4月23日

医療機関の長 殿

茨城県医師会会長 諸岡 信裕

「新型コロナウイルス関連感染症:第33報」

茨城県赤十字血液センターからのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令により、茨城県内の献血にも多大な影響が出ており、予定されていた献血会場が相次いでキャンセルとなっている状況です。

そのため、代替りの会場を選定しながら日々確保に努めているところですが、令和2年4月の確保状況は、予定確保量の90%程度で推移しており、このような状況が続くと血液の安定的な供給にも支障がでる可能性が生じております。

献血は医療関係の事業として継続を求められおり、事前体温測定、アルコールによる手指消毒、3密の防止などを徹底して実施しているところです。

この困難な状況を乗り越えるため、お近くの献血会場で献血にもご協力をいただけると幸いです。

また、現在、水戸駅ビル・エクセル南は閉館しておりますが、同ビル6階の献血ルームやつくばセンタービル2階のつくば献血ルームは開所しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「人間を救うのは、人間だ！」(Our world. Your move.)

茨城県立中央病院からのお願い

去る4月10日の知事記者会見で公表されましたように、県立中央病院は県からの要請を受け、4月2日より当該感染患者の入院を受け入れております。重篤化しやすい高齢患者、呼吸管理の必要な中等症患者等であり、院内の全ての職員が協力して慎重にかつ最大限の力を尽くしております。診療上の負荷や感染対策などに対する多面的な配慮が求められる上、主たる診療科である呼吸器内科はもちろんのこと、他の診療部門の職員の協力をも得る必要から、当座の間、通常の診療をおよそ20%程度縮小せざるを得ないと判断し、皆様のご理解をいただくため本感染症診療の実情を公表した次第です。

ご承知のように本感染症の診療にあたっては、院内の全ての職員が通常の診療活動以上に大きな精神的、肉体的重圧にさらされております。医療崩壊が一瞬にして起こることも決して非現実的であるとは感じられません。現場で市民・県民の命を守っている全職員に対する皆様方の深いご理解こそが医療を守る最大の力です。ここに、同じ医療を担う共同体としての茨城県医師会の絶大なるご支援を賜りたくお願いする次第です。